

市立旭川病院で出産し、自己血輸血を受けた患者さんへ

当院では以下の臨床研究（多施設共同研究）を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

「妊婦に対する自己血輸血の現状に関する研究」

〔研究機関〕

群馬大学附属病院が主体となり日本輸血・細胞治療学会の認定医が所属する日本全国の医療施設で、本研究に参加を表明した施設

〔研究の目的〕

- （１）妊婦の自己血輸血の安全性と管理運用体制との関連検討
- （２）妊婦の自己血輸血の同種血輸血回避率と自己血採取量との関連検討

〔研究の方法〕

（１）対象となる患者さん

2016年1月1日から2018年12月31日までに出産し、かつ自己血輸血を受けた20歳以上の患者さんを対象としています。

（２）利用する情報

カルテ情報から以下を調べます。

診断、妊娠歴、身長、体重、年齢、採取開始妊娠週数、自己血予定採取量、実施採取量、自己血採取1-5回目までの日付、採取量、VVR（血管迷走神経反射）の程度、当日ESA（赤血球造血刺激因子製剤）投与の有無、Hb、Ht、RBC、自己血採取、VVR以外の輸血に関する副作用やトラブル。

〔研究実施期間〕

実施許可日～2022年3月31日

〔個人情報の取り扱い〕

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、群馬大学附属病院に集められて解析されます。また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。当院外にお名前や個人情報が出ることはありません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

市立旭川病院（旭川市金星町1-1-65） 電話：0166-24-3181

血液内科 柿木康孝／産婦人科 伊野善彦／中央検査科 二郷元彦、旭千佳